

湘南まちいくプロジェクト

2013 年度 事業報告書

2014 年 5 月

〒227-0044 神奈川県横浜市青葉区もえぎ野 15-50

[e-mail] info@shonan-machiiku.com [URL] <http://shonan-machiiku.com/>

2013.04.01～2014.3.31

団体概要

■概要

湘南まちいくプロジェクトは、高校生一人ひとりが「まちのつくり手」になってほしいという願いから、高校生がまちに参画する機会を湘南地域で幅広く作っていく、大学生・院生や若手社会人などによるプロジェクトです。

■目的

高校生がまちに参画する機会を幅広く展開することを通して、湘南地域の「まちのつくり手」を育てていく。

■事業内容

- (1) 高校授業実践協力事業：湘南地域の高校で、生徒が地域課題解決に取り組む授業への協力を行う。
- (2) 高校生課外活動事業：高校生を対象に、地域への参画の機会を提供する（「まちつくクラブ in 湘南」）。
- (3) 行政連携・協力事業：行政による、高校生の地域・社会参画の取り組み等への協力を行う。
- (4) 啓発・提言事業：子ども・若者参画やシティズンシップ教育等に関する勉強会・報告会などを実施する。

■組織概要・体制

- ・代表 古田 雄一（筑波大学大学院博士後期課程）
- ・副代表 金子 美穂
- ・会計 大越 実花
- ・支援者 笹井 宏益（国立教育政策研究所）
- ・2013 年度会員数 14 名
- ・設立 2012 年 8 月

(1) 高校授業実践協力事業

■湘南学園中学校・高等学校 勉強会 (10月27日)

2014 年度以降の、高校授業実践協力事業に向けた事業実施準備の一環として、藤沢市内の私立校である湘南学園中学校・高等学校の吉川謙太郎先生をお招きし、同校の総合学習の取り組みについての勉強会を実施した。同校の総合学習は、「持続可能な開発のための教育 (ESD)」を中核的な理念に据えながら、中学校・高校の 6 年間を通して、調べ学習やフィールドワークなども交えた総合学習が展開されている。勉強会では、同校の取り組みについて学ぶとともに、幅広い意見交換を行った。

(なお同校とは、勉強会後も、意見交換・情報交換を続けている。)

[日時] 2013 年 10 月 27 日 (日) 17:00~20:00

[場所] 藤沢市市民活動推進センター 会議室 B

[講師] 湘南学園中学校・高等学校 吉川謙太郎先生

[参加者] 9 名

(2) 高校生課外活動事業

■まちつくクラブ in 湘南 (6月16日~12月31日)

2013 年度の弊団体の主幹事業として、湘南地域の高校生を対象とした社会教育プログラム「まちつくクラブ in 湘南」を実施した。「まちつくクラブ in 湘南」は、藤沢・鎌倉を中心とする湘南地域在住・在学の高校生が、学校を越えて集まり、グループに分かれてまちの課題の解決に取り組む企画を立案し、実行するという活動で、弊団体のメンバーが、サポーターとして高校生の活動を支える役割を担った。本年度は、「湘南のまちと震災」「まちの魅力発信」という 2 つのテーマで活動を行い、9 名の高校生が参加した。概要は、以下の通りである。

[期間] 2013 年 6 月 16 日(日)~12 月 31 日(火)

[参加者] 高校生 9 名 (1 年生 1 名、2 年生 6 名、3 年生 2 名)

[参加者所属校] 県立七里ガ浜高校、県立鎌倉高校、私立湘南学園高校、県立金井高校、私立法政高校

[活動テーマ] 「湘南のまちと震災」「まちの魅力発信」

[主な活動拠点] 藤沢市市民活動推進センター、藤沢青少年会館、かながわ県民活動サポートセンター 等

[主催・共催・協力・後援]

主催: 湘南まちいくプロジェクト

共催: 公益財団法人藤沢市みらい創造財団 (共催支援事業)

協力: 鎌倉市市民活動センター

後援: 藤沢市

1) 6 月:オリエンテーション・交流会

「まちつくクラブ in 湘南」は、6 月のオリエンテーションや交流会からスタートとなった。オリエンテーションでは、活動の説明や、自己紹介やゲーム、テーマに分かれてのディスカッションなどを行った。また、藤沢市少年の森を使って行った交流会では、カレー作りなどを通して、高校生同士や、高校生とサポーターとの親睦を深めた。

・オリエンテーション

[日時] 2013 年 6 月 16 日(日) 13:30~17:00

[場所] 藤沢青少年会館（終盤のみ、一部の参加者・メンバーが藤沢市市民活動推進センターを利用）

[参加者] 7名

・交流会

[日時] 2013年6月23日(日) 9:30～16:00

[場所] 藤沢市少年の森

[参加者] 12名

2) 7～8月:グループに分かれての活動

7月以降は、「湘南のまちと震災」と「まちの魅力発信」のチームに分かれて活動を進めた。

「湘南のまちと震災」グループは、東日本大震災の被災地支援などを経験した方へのヒアリングなども経ながら、参加高校生一人ひとりの問題意識を丁寧に掘り下げていく中で、東日本大震災の被災地での経験や教訓を共有すること、また湘南のまちで震災について考える機会を作ることが重要であるという共通の思いに気づいた。そこで、世代を越えて湘南のまちで震災についてともに話し合う場を企画することになった。

「まちの魅力発信」グループは、湘南で普段生活している人にも、観光で湘南を訪れた人にも、このまちの良さを再発見してほしいという思いから、高校生の視点から、地域の穴場を再発見して伝える企画を考えることとなった。企画を練り上げていった結果、由比ヶ浜通りを取り上げることになり、通りを紹介するマップの制作、マップを利用したスタンプラリー企画、和服でのツアー企画などを行うことになった。

それぞれの企画概要は、以下の通りである。

・「湘南のまちと震災」グループ

[企画名] 話し合おう「震災」のこと ～世代をこえて考える～

[日時] 8月16日(金) 18:00～20:30

[場所] 藤沢市市民活動推進センター 会議室 A

[企画内容]

湘南地域の幅広い世代の方々に集ってもらい、震災に関心のある方もそうでない方も、一緒に震災のことについて考え、話し合う場を提供した。当日は、導入として「釜石の奇跡」に関する動画を観賞後、グループに分かれて震災について議論を行った。高校生はグループのファシリテーターを務めた。

[参加者数] 17名

・「まちの魅力発信」グループ

[企画名] スタンプラリー 「なごみあるき」

[日時] 8月24日(土)

[場所] 鎌倉市・由比ヶ浜通り

[企画内容]

由比ヶ浜通りの店舗等を紹介するマップを作成するとともに、紹介したスポットのうちの一部にスタンプを設置し、1日限定のスタンプラリーを実施。当日は、江ノ島電鉄長谷駅と、長谷観音前の交差点の2か所でマップを配布するとともに、和服を着た高校生がガイド役を務めるツアー企画も実施した。

3) 8月下旬～10月:振り返り・報告会

企画終了後は、グループごとに振り返りを実施した。その後、9月の準備期間を経て、10月に活動報告会「まちレポ!!」を実施した。なお、報告会の企画・準備は、高校生参加者の有志と、サポーターが合同で行った。報告会の概要は、以下の通りである。

・活動報告会「まちレポ!!」

[日時] 10月6日(日) 14:00～16:30

[場所] 藤沢青少年会館 第1・第2会議室

[参加者] 18名

4) 11月～12月:サポーター振り返り・事後評価・報告書作成

高校生の活動の終了後、サポーターによる振り返りや、高校生のアンケートの集計・分析、報告書作成などが行われた。アンケートによれば、高校生の満足度は概ね高く(5段階評価で平均点 4.75)、高校生の社会的効力感の高まりや地域への関心や参加意欲の高まりがみられた。また、高校生の振り返りの記述からは、自分の意見を言ったり、様々な人とコミュニケーションをとったりすることができるようになったという変化や、自分たち自身で企画したことを実現し、それを認めてもらえる経験が自信(効力感)につながり、それが、今後まちに参加していきたいという思いに結びついていることがうかがえた。一方で、サポーターの振り返りの中で、プログラム設計に関して、テーマの設定方法、プログラムの期間の長さ、参加者の多様性など、いくつかの検討課題も浮上し、来年度以降の改善を図ることが検討された。

(3) 行政連携・協力事業

■「ふじさわ未来プロジェクト」への当日ボランティア参加(10月13日～1月25日)

公益財団法人藤沢市みらい創造財団が主催する、2013年度「ふじさわ未来プロジェクト」(協力:NPO法人地域魅力・NPO法人湘南市民メディアネットワーク)の活動に、当日ボランティアスタッフとして弊団体のメンバー2名(石原遼・大越実花)が参加した。同プロジェクトは、市内の小中学生を対象とした、全6回にわたって実施されるプログラムで、参加者はテーマに沿った地域を選び、実際にまちに出て、子どもレポーターとして、取材・体験をした後、得た情報や自分たちの視点から見た地域について、ホームページを作成した。

[期日] 2013年10月13日(日)、10月27日(日)、11月10日(日)、12月1日(日)、12月14日(土)、
2014年1月25日(土)

[場所] 藤沢青少年会館 ほか

(4) 啓発・提言事業

(2013年度は該当事業なし。ただし、「(5) その他」に記載した通り、メンバー内部での勉強会は実施している。)

(5) その他

■内部勉強会(11月16日～2月2日)

「子ども・若者の参画」をテーマに、全4回にわたって、メンバー内での勉強会を実施した。他の実践にも関与するメンバーの経験や、大学院博士後期課程に在籍する代表・古田の研究知見なども活かしながら、子ども・若者の参画にかかわる背景・理念、また国内外の様々な取り組みの事例を学び、議論を深めることで、メンバーの力量形成を図るとともに、団体としての理念や今後の活動の指針・計画について考える契機とした。

[第1回] 2013年11月16日(土) 15:00～17:30 子ども・若者の参画の背景・理念

[第2回] 2013年11月30日(土) 10:00～12:30 学校への子ども・若者の参画

[第3回] 2013年12月22日(日) 15:00～18:00 (学校における) 地域への子ども・若者の参画

[第4回] 2014年2月2日(日) 10:00～12:30 市政まちづくりへの子ども・若者の参画

※場所は、全てかながわ県民活動サポートセンターミーティングルームを利用して実施。

2013 年度の総括と 2014 年度に向けて

2012 年夏に設立し、本格的な活動の展開に向けた準備を進めて迎えた 2013 年度は、弊団体にとって、重要な船出の一年となりました。主幹事業として実施した「まちつくクラブ in 湘南」は、9 名の高校生参加者を迎え、2 つの企画が無事に実現いたしました。活動の準備から実施まで、藤沢・鎌倉地域の様々な方々のお力添えをいただいたことを、ここに改めて記し、深く御礼申し上げます。「まちつくクラブ in 湘南」の活動を通して、地域の方々との貴重な結びつきを得られたことは、団体としても大切な財産であると感じております。

また、年度の上半期に実施した実践活動に加え、下半期には、他の実践への参加による経験の蓄積や、勉強会やメンバー内での議論をじっくりと行えたことにより、実践と実践、実践と理論、実践と理念といった往還作業を通して、団体の核となる理念を固めるとともに、基本的な実践の「型」を築くことができました。

2014 年度は、こうした基盤をもとに、2 期目となる「まちつくクラブ in 湘南」の実施に加え、高校授業実践協力事業や、行政連携・協力事業など、他のフィールドでの実践づくりにも取り組んで参ります。一人でも多くの「まちのづくり手」を育てていけるよう力を尽くしてまいりますので、今後とも、皆さまのご協力とご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

湘南まちいくプロジェクト
代表 古田 雄一